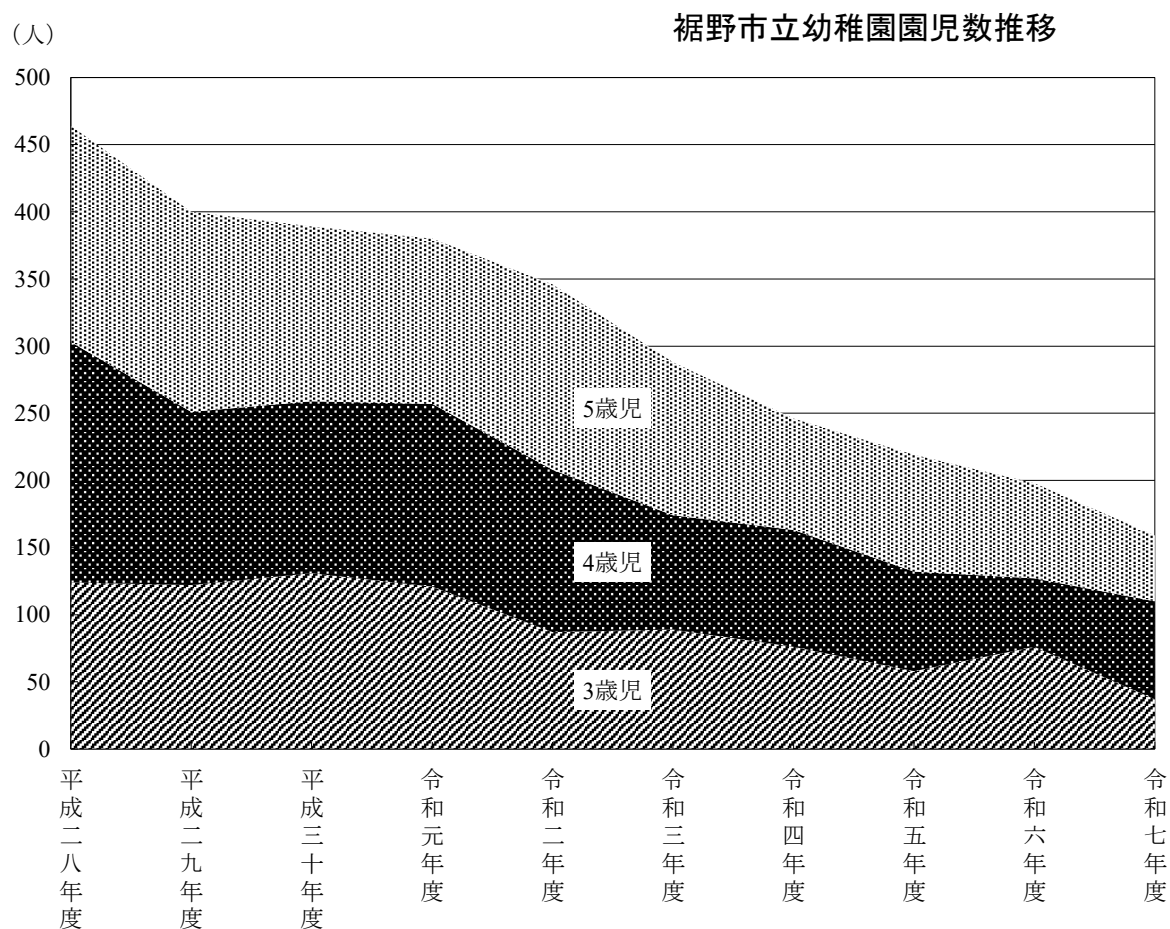


3 幼稚園

【裾野市立幼稚園園児数推移】

各年 5 月 1 日現在

	全園児数	3 歳児	4 歳児	5 歳児	学級数	備考
平成 28 年度	464	124	179	161	25	
平成 29 年度	400	122	129	149	22	
平成 30 年度	389	131	128	130	23	
令和元年度	380	121	136	123	24	
令和 2 年度	346	87	121	138	22	
令和 3 年度	288	89	85	114	20	
令和 4 年度	246	76	87	83	16	
令和 5 年度	219	58	74	87	17	
令和 6 年度	198	76	51	71	14	
令和 7 年度	159	37	73	49	14	



各 幼 稚 園

(5 園)

【裾野市立いずみ幼稚園】



1 幼稚園の概要

所在地番	410-1113 裾野市稲荷123-1					
電話	055-992-1683		FAX		055-992-1875	
設立年月日	昭和 43 年度					
園 長	勝村 康幸					
園長代理	小泉 千恵子					
職員数（人）	県費職員	市費職員				
	兼務園長	園長	園長代理	教諭等	用務員	会計年度職員(内数)
	-	1	1	8	1	6

2 施設の概要

校地面積（㎡） （）内数字は借地で外数	建物敷地	運動場	その他	合計	
	273 (876)	1,492	0	1,765 (876)	
校舎構造（㎡）	鉄筋	鉄骨	木造	その他	合計
	794	24	119	0	937
プール（m）	あり				
教室数	普通	特別			
	7	2			
校舎完成	昭和 57 年 3 月				

3 幼稚園園児数推移

各年 5 月 1 日現在

	全園児数	3 歳児	4 歳児	5 歳児	学級数	備考
平成 28 年度	147	52	49	46	7	
平成 29 年度	134	44	44	46	6	
平成 30 年度	145	58	42	45	7	
令和元年度	140	58	45	37	7	
令和 2 年度	115	25	47	43	6	
令和 3 年度	103	34	23	46	5	
令和 4 年度	81	27	31	23	4	
令和 5 年度	75	19	28	28	4	
令和 6 年度	65	22	17	26	3	
令和 7 年度	50	12	21	17	3	

令和7年度 いずみ幼稚園 グランドデザイン

子どもの実態

- ・素直で人懐っこい子
- ・意欲的に取り組む子
- ・集団遊びが得意

保護者の姿

- ・安定した環境下での子育て
- ・核家族世帯の増加
- ・園生活や園行事に協力的

保護者の願い

- ・安全で安心な園生活
- ・様々な経験
- ・友達(他者)と関わる力
- ・遊ぶ楽しさの実感

教育課題

- ・自分で考えたり作り出したりする自主性・創造性を育てる。
- ・活動に夢中で取り組み、調和の取れた心身の発達を促す。
- ・友達、異年齢、地域の方とのふれあい、思いやりの心やコミュニケーション能力を高める。

教育目標 (みんなの 愛ことば)

ひとみかがやく いずみの子



研修目標

学年目標

3歳

幼稚園って楽し
いな！

4歳

友達大好き！みんなでやると
楽しいよ！

5歳

なかまと力を合わせて

みんなとつな
がる
いずみの子

- ☆自分のよさに気づく子どもたち。
- ☆友達の優しさ温かさを感じ、自分もそれを自然に出せるようになる。
- ☆様々な体験の中で物事の不思議さ、素敵さ、素晴らしさに気づく。
- ☆自分を取り巻く環境（地域の自然や人々）の大切さに気づく。

目指す幼 稚園の姿 (園経営目 標)

安心・安全で地域から愛される幼稚園
<いずみ再発見!>

安心・安全

- ・子どもの興味関心に沿った保育計画
- ・子どもが主体的に取り組む保育環境設定
- ・子ども理解と自己肯定感・自己有用感が高まる支援
- ・不適切な保育未然防止

地域から愛される

- ・地域を知る(さんぽ・施設見学)
- ・家庭、地域の力の活用
- ・家庭、地域への発信
- ・幼幼・幼保・幼小・幼中等との交流連携

【裾野市立西幼稚園】



1 幼稚園の概要

所在地番	410-1118 裾野市佐野1470					
電話	055-992-5200		FAX		055-992-5248	
設立年月日	昭和 49 年度					
園 長	矢島 繭穂					
園長代理	—					
職員数（人）	県費職員	市費職員				
	兼務園長	園長	園長代理	教諭等	用務員	会計年度 職員(内数)
	-	1	-	9	1	6

2 施設の概要

校地面積（㎡）	建物敷地	運動場	その他	合計	
	1,302	1,191	0	2,493	
校舎構造（㎡）	鉄筋	鉄骨	木造	その他	合計
	0	719	30	0	749
プール（m）	あり				
教室数	普通	特別			
	5	1			
校舎完成	昭和 49 年 11 月				

3 幼稚園園児数推移

各年 5 月 1 日現在

	全園児数	3 歳児	4 歳児	5 歳児	学級数	備考
平成 28 年度	120	24	56	40	5	
平成 29 年度	96	24	32	40	4	
平成 30 年度	96	24	32	40	4	
令和元年度	98	24	41	33	5	
令和 2 年度	99	22	33	44	5	
令和 3 年度	77	24	22	31	4	
令和 4 年度	67	22	28	17	3	
令和 5 年度	69	19	21	29	4	
令和 6 年度	68	30	17	21	4	
令和 7 年度	60	16	29	15	4	

経営方針

令和7年度 市施政方針

- ・健康福祉部の子育て分野を分離して子育て部を新設
- ・少子化対策や子育てニーズに即したきめ細やかな支援を強化
- ・「日本一の子育て環境」の提供を目指す

教育目標

ひとりひとりが輝く子

重点目標

やってみたい！一緒にやろう！楽しいな！

教育方針

- ・友達と遊び、気持ちを感じる体験を通して、人とのかかわる力を育む
- ・夢中で取り組む体験を重ねて、目標に向かって頑張る力を育む
- ・周りの人たちに思いを伝え合う中で、気持ちをコントロールする力を育む
- ・毎日の絵本の読み聞かせから言葉や物語と出会い、豊かな心を育む
- ・野菜の栽培を通して、季節や食に興味をもち、健康な身体を育む

保護者の願い

- ・友達と仲良く遊んでほしい
- ・いろいろな体験をしてほしい
- ・のびのびと遊んでほしい
- ・思いやりのある子に育ててほしい

こどもの実態

- ・西小、南小学区を中心に通っている
- ・家庭で大切に育てられている
- ・素直で人懐こく明るい子が多い
- ・生活や運動面の経験に個人差がある

学年目標

3歳 たくさん遊ぼう 楽しいを見つけよう

4歳 のびのびと遊ぶ中で友達の思いを知る

5歳 互いのよさに気づきながら遊びや生活を楽しむ

【裾野市立深良幼稚園】



1 幼稚園の概要

所在地番	410-1102 裾野市深良696					
電話	055-997-3598		FAX		055-997-4048	
設立年月日	昭和 51 年度					
園 長	渡邊 真紀					
園長代理	—					
職員数（人）	県費職員	市費職員				
	兼務園長	園長	園長代理	教諭等	用務員	会計年度 職員(内数)
	-	1	0	6	1	5

2 施設の概要

校地面積（㎡）	建物敷地	運動場	その他	合計	
	1,344	1,100	0	2,444	
校舎構造（㎡）	鉄筋	鉄骨	木造	その他	合計
	0	504	20	0	524
プール（m）	あり				
教室数	普通	特別			
	3	1			
校舎完成	昭和 51 年 11 月				

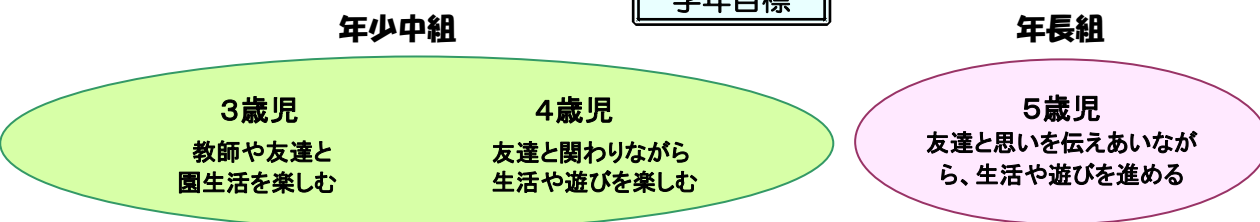
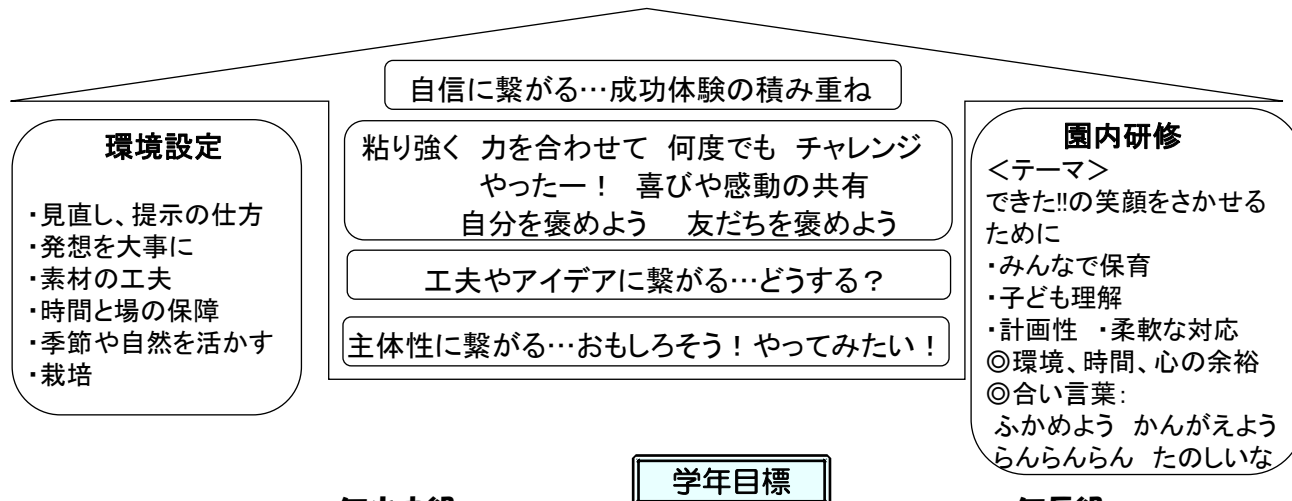
3 幼稚園園児数推移

各年 5 月 1 日現在

	全園児数	3 歳児	4 歳児	5 歳児	学級数	備考
平成 28 年度	54	10	22	22	3	
平成 29 年度	45	17	9	19	3	
平成 30 年度	42	15	18	9	3	
令和元年度	41	9	15	17	3	
令和 2 年度	39	14	9	16	3	
令和 3 年度	30	8	13	9	3	
令和 4 年度	35	11	9	15	3	
令和 5 年度	23	4	9	10	3	
令和 6 年度	18	6	3	9	2	
令和 7 年度	9	2	4	3	2	

経営方針

令和7年度 深良幼稚園	教育目標 重点目標	生き生きと心豊かな深良っ子 夢中になって遊べる子
----------------	--------------	-----------------------------



教育課題	<p>○「できた」の活動を積み重ね、自信に繋げる</p> <p>○地域や友達と、楽しいことを一緒にやろう</p> <p>↑</p> <p>主体的に活動する力・関わろうとする意欲を育み、明るい 気持ちで元気よく生活する資質・能力の基礎を醸成する。</p>
------	--

＜安全・安心な園生活＞

- ・園施設及び園庭遊具等の定期安全点検
- ・地震、火災、火山噴火、不審者侵入などを想定した避難訓練
- ・交通安全教室や花火教室
- ・日常活動での子どもの所在確認
- ・登園時の欠席・遅刻等の確認
- ・降園時の確実な引き渡し

園生活の土台

＜地域等との連携＞

- ・読み聞かせ・野菜栽培・行事への参加
- ・幼保小架け橋プログラム
- ・スクールコーディネーターとの連携
- ・リトミックやスポーツ教室など

＜教育相談＞

- ・子どもに関する心配事や気になること
- ・特別な支援に関すること その他
- ・外部機関等との連携

＜子どもの実態＞

- ・恵まれた家庭環境の中で育っている
- ・自然や虫が好き
- ・素直で優しく、人懐こい。反面、持続性がなく飽きっぽい
- ・おおらかでのんびりとしたよさはあるが、切磋琢磨する事が少ない
- ・自分をもってはいるが、前に出ることは苦手な子が多い。ただ、ここぞというときは、力を発揮できる
- ・興味関心が強く、物怖じしない

基盤情報

＜保護者の願い＞

- ・物事に意欲的に取り組み、やり遂げる力をつけてほしい
- ・家庭でできないことを体験してほしい
- ・友達をたくさん作って、伸び伸びと育ててほしい
- ・異年齢や地域等の交流をしながら、人との関わりを学んでほしい

＜子ども育成に関する市の方策＞

- ・「こころざし」を持ち、自らを高める子どもを育てる
- ・学習機会の充実を図る
- ・豊かな人間性を育む
- ・豊かな人生を創出する

【裾野市立富岡第一幼稚園】



1 幼稚園の概要

所在地番	410-1107 裾野市御宿682-14					
電話	055-997-1277		FAX		055-997-4319	
設立年月日	昭和 30 年度					
園 長	松山 みゆき					
園長代理	—					
職員数（人）	県費職員	市費職員				
	兼務園長	園長	園長代理	教諭等	用務員	会計年度職員(内数)
	-	1	-	6	1	4

2 施設の概要

校地面積（㎡）	建物敷地	運動場	その他	合計	
	1,640	1,552	0	3,192	
校舎構造（㎡）	鉄筋	鉄骨	木造	その他	合計
	0	703	19	0	722
プール（m）	あり				
教室数	普通	特別			
	4	2			
校舎完成	昭和 54 年 9 月	昭和 57 年 4 月	平成 3 年 9 月		

3 幼稚園園児数推移

各年 5 月 1 日現在

	全園児数	3 歳児	4 歳児	5 歳児	学級数	備考
平成 28 年度	83	20	29	34	4	
平成 29 年度	74	19	30	25	3	
平成 30 年度	63	24	19	20	3	
令和元年度	57	13	25	19	3	
令和 2 年度	63	23	14	26	3	
令和 3 年度	43	10	23	10	3	
令和 4 年度	45	9	13	23	3	
令和 5 年度	33	11	9	13	3	
令和 6 年度	34	16	9	9	3	
令和 7 年度	30	5	16	9	3	

経営方針

裾野市の方策

- ・「こころざし」を持ち、自ら高める子どもを育てる。
- ・豊かな人生を創出する



保護者・地域の実態

- ・教育に関心を持ち、幼稚園に協力的である。
- ・教育に協力的であり、子供を守り育てようという教育力がある。

園児の実態

- ・活動に意欲的に取り組む子が多い。
- ・自分で考えたり創り出したしたり豊かな発想をする子がいる。
- ・自分で考えて適切な行動がとれない子、自分の言葉で上手に表現できない子もいる。
- ・年齢が上の子には下の子を思いやる気持ちが育っている。

保護者の願い

- ・自分たちで考え創り出す自主性を育てる教育を進めて欲しい。
- ・リズム運動や読み聞かせ、栽培、園外保育等を継続して欲しい。
- ・異年齢グループによる活動や行事を計画して欲しい。
- ・地域との交流を進めて欲しい。

《教育課題》

- ・自分のことが自分ででき、**自信や意欲**を高める。
- ・遊びやいろいろな活動に夢中で取り組み、調和のとれた心身の発達を促す。
- ・いろいろな人とのふれあいを通して、**コミュニケーション能力や思いやりの心**を育てる。

【教育課題】



教育目標

夢中で取り組む子

重点目標

お

もしろいことをみつけよう

や

ってみよう

つ

なげよう

学年目標

3 歳

喜んで登園し先生や
友達と遊びを楽しむ

4 歳

友達とかかわりながら
遊ぶことを楽しむ

5 歳

友達と思いを伝え合いながら
遊びや生活をすすめる

教育構想

富岡第一幼稚園の合言葉は「お・や・つ」

子どもの「お・や・つ」を引き出すために、教師は具体的にこんな関わりをしています。

おもしろいことをみつけよう！

そのために…

① 子どもが夢中で遊べるよう保障しよう
【時間】【空間】【仲間】 3つの間

② 豊富な体験を！

- ・子どもの心に「楽しい」を積み重ねていこう。
- ・製作、音楽遊び、運動遊びなどをバランスよく計画する。
- ・わらべうた、絵本の読み聞かせなどの活動を通して、豊かな感性を育てる。
- ・地域や他園との交流を深め、新たな経験を重ねるとともにコミュニケーション能力を高める。

③ 「おもしろそう」の目、気付きの目を養う。

- ・わくわくすることいっぱいしよう。
- ・教師も主体的に積極的に動いてみよう。
- ・園外保育、栽培など自然と触れ合う体験を。

やってみよう！

① 自分で見つける、気付くチャンスに！

- ・子どもが自分で考える、伝える行動を促す。
- ・手や言葉をかけすぎない配慮。

② 可能性を広げよう！

- ・難しそうなことや、時間が掛かることにも挑戦する体験をしよう。
- ・子どものやる気を引き出す適切な支援を模索する。
- ・子ども任せではなく段階的なかわりで遊びを盛り上げていこう。

③ 見届けよう！

- ・ポジティブ言葉・かわりの模範。

つなげよう！

①【人と人】 見せ合い、気付き合い、伝え合い

- ・友達や他学年の活動を見たり経験したりして、遊びを広げる。
- ・クラスを超えて楽しいを共有しよう。

②【遊びの広がり】 気付きや学びを、また次へ

- ・「それなら…」「今度は…」「私なら…」と『面白い』はひろがっていく。
- ・大人もひらめきたい。
- ・子どもの発想を広げる素材を考える。
- ・子ども理解につながるコミュニケーションを深めていく。

③【家庭へ・次の学年や小学校へ】

観察とアセスメント

【裾野市立須山幼稚園】



1 幼稚園の概要

所在地番	410-1231 裾野市須山158-1					
電話	055-998-0096		FAX		055-998-0854	
設立年月日	昭和 33 年度					
園 長	坂田 悦子					
園長代理	—					
職員数（人）	県費職員	市費職員				
	兼務園長	園長	園長代理	教諭等	用務員	会計年度職員(内数)
	-	1	-	4	1	2

2 施設の概要

校地面積（㎡）	建物敷地	運動場	その他	合計	
	1,116	2,027	0	3,143	
校舎構造（㎡）	鉄筋	鉄骨	木造	その他	合計
	0	87	324	0	411
プール（m）	あり				
教室数	普通	特別			
	3	1			
校舎完成	昭和 63 年 2 月		平成 12 年 3 月		

3 幼稚園園児数推移

各年 5 月 1 日現在

	全園児数	3 歳児	4 歳児	5 歳児	学級数	備考
平成 28 年度	36	11	15	10	3	
平成 29 年度	37	14	10	13	3	
平成 30 年度	29	6	13	10	3	
令和元年度	25	7	6	12	3	
令和 2 年度	16	3	8	5	3	
令和 3 年度	20	8	4	8	3	
令和 4 年度	18	7	6	5	3	
令和 5 年度	19	5	7	7	3	
令和 6 年度	13	2	5	6	2	
令和 7 年度	10	2	3	5	2	

教育目標 豊かな感性をもち 自らやってみる子

重点目標 楽しい！ やりたい！ また遊ぼう！

＜研究テーマ＞ 自然の中で一人ひとりの心と体を育てるかかわり方と環境の工夫
～絵本と実体験のつながりを通して～

かかわり方：喜びや感動の共有

- ◎子どもの「楽しい」「やりたい」を引き出し自主性につなげる声かけや手だて
- ・絵本と実体験のつながりを楽しむ絵本の読み聞かせ
- ・四季を感じるうた・わらべうた
- ・夢中になれる制作や見立て遊び

環境の工夫：体験と発見のある場の設定

- ◎5つの領域からなるねらいと内容に沿った、須山の豊かな自然を生かした保育
- ・季節を体感しよう／探検に行こう／自然の素材（水、土・砂、植物、生き物等）に触れて、遊ぼう／体を思い切り動かして遊ぼう／野菜を育てて作って食べよう等

3歳児

友達や先生と一緒に伸び伸びと園生活を楽しむ

4歳児

自分がしたい遊びを十分に楽しみながら興味関心を広げていく

5歳児

思いを伝えあいながら友達と一緒に遊びや生活を進める

子どもの姿

- ・自分の思いをそのまま表現できる。
- ・小規模で異年齢のかかわりが自然にできている。
- ・少人数で生活しているため、社会性や公共性を学ぶ機会が少ない。

保護者の願い

- ・園内外で様々な体験をしてほしい。
- ・優しい心の子、ルールを守る子になってほしい。
- ・基本的な生活習慣を身につけてほしい。

＜須山幼小中連携＞ 須山幼小中スローガン 「あいさつ へんじ たすけあい」

合言葉：野の花のようなしなやかさと清らかさをもっている子

「幼小中連携連絡協議会」義務教育修了時に願う子供の姿を幼小中で共有

- ・定期的な情報交換等により、連携の深化を図る。

「幼小中の研究交流」

- ・アプローチカリキュラムとスタートカリキュラムの繋がりを意識した架け橋期のカリキュラムの共有と実行を幼小接続に生かす。
- ・園児、児童、生徒の交流と教職員の交流により異校種への理解を深める。

「豊かな体験活動を支える地域との連携」

- ・コミュニティ・スクール、地域学校協働本部事業、学校評議員、PTA、等との連携（読み聞かせ、野菜栽培、地域のゲストティーチャーによる行事参加、EnglishTime、等）